

第 77 回栃木県芸術祭文芸賞審査結果（創作部門）

- 応募者数 17人（20人）
○ 入賞者数 8人（8人）（ ）内は昨年度実績

【審査寸評】

○作品総括

コロナ禍の下での創作活動を強いられた人々にとって、自己の内面に向かうのは当然のことだっただろう。多くがそうした作品だった中で、社会性のあるもの、未来に向かって問題を投げかけるものを高く評価した。

○文芸賞 「コロッケ哀歌」

それぞれのキャラクターを見事に書き分ける力量が評価できる。

破綻のないストーリーが素晴らしい。

児童文学のスタイルで書かれた大人の小説として読者を惹きつける。

○準文芸賞「たしかにママだった」

AI を取り扱った作品だが、近未来に施行される AR（拡張現実）法を設定した点がおもしろく、将来の作品が楽しみだ。

育児の擬似体験を通して心を通わせていく夫婦の姿がリアルだ。

○準文芸賞「風は東から」

ひきこもりの中年男性が、夢に向かって突っ走る少女と出会い、彼女を支援するようになる。途中から立場が逆転し彼女は姿を消す。

よくまとまっている作品だ。

【入賞者名・作品名】

○ 文 芸 賞

いしざき けいこ

石寄 敬子

（宇都宮市）

あいか

「コロッケ哀歌」

○ 準文芸賞

よしだ みのる

吉田 稔

（宇都宮市）

「たしかにママだった」

やまだ あけみ

山田 明美

（宇都宮市）

「風は東から」

○ 文芸奨励賞

おぼな よしのぶ

尾花 好信

（佐野市）

「上野駅で」

まさおか かずよし

政岡 一義

（日光市）

「シュレディンガーの猫」

いちかわ りほ

市川 莉帆

（佐野市）

「あなた」

あたゆうすけ

（宇都宮市）

みちしるべ

「道標」

おおいずみ ようこ

大泉 耀子

（宇都宮市）

「ミゲルと僕の仕事」

○ U 2 5 賞

該当者なし

第 77 回栃木県芸術祭文芸賞審査結果（随筆部門）

- 応募者数 33人（43人）
○ 入賞者数 8人（9人）（ ）内は昨年度実績

【審査寸評】

○ 作品総括

昨年より応募作品は少なかったものの、何気ない日常の中からテーマを選び、情景や心情をうまく表現している作品が多く、全体としてレベルの高さを感じた。そうした中、上位に選ばれた作品も含めて、タイトルの選び方や末尾のまとめ方に工夫をすると更に良くなるとの意見もあった。

○ 文芸賞 「サプライズ」

夕暮れ時の公園のブランコをめぐる、ハンディキャップを持つ息子と母親、たまたま通りかかった若い男女に授けられた“サプライズ”を描いた作品。母親の心情もうまく表現されている。

○ 準文芸賞 「父の旅立ち」

父親の死に直面した作者の心情が淡々とした筆で描かれた作品。コロナ禍の話も含まれ時節も得ている。また、余韻がある。

○ 準文芸賞 「スーパースターの睡眠」

メジャーリーグのスーパースターの話をも自分の不眠の辛さに展開した作品。

ユーモアのある文章にも好感が持てた。

【入賞者名・作品名】

○ 文芸賞

かりや のりこ

莉屋 紀子（鹿沼市） 「サプライズ」

○ 準文芸賞

やまぐち あきら

山口 昭（宇都宮市） 「父の旅立ち」

やまだ あゆこ

山田 亜友子（千葉県千葉市） 「スーパースターの睡眠」

○ 文芸奨励賞

こいたばし たけし

小板橋 武（宇都宮市） 「机」

こばやし ひろし

小林 博（鹿沼市） 「博士の好きな雑木林」

あたゆうすけ（宇都宮市） 「友好の道」

ながい そう

永井 想（宇都宮市） 「音の架け橋」

はしもと さちこ

橋本 幸子（那須塩原市） 「心の棘」

○ U25賞

該当なし

第 77 回栃木県芸術祭文芸賞審査結果（詩部門）

- 応募者数 46人（42人）
○ 入賞者数 8人（7人）（ ）内は昨年度実績

【審査寸評】

- 作品総括
全体に応募者が減少している中、詩部門については例年になく応募が多く嬉しい事である。
作品は散文詩が多く、詩の幅が広がったように思える。
- 文芸賞
該当なし
- 準文芸賞「妻の裁縫箱」
亡くなった妻が使っていた裁縫箱から当時の思い出を回想する作品。
短かすぎるが詩の心を表現していて良い作品である。
もう少し肉付けが欲しかった。
- 準文芸賞「田川のほとりにて」
題材が今日的である。
田川のほとりの情景を観ながら戦時中の記憶等に想いを馳せる作品。
宇都宮空襲とウクライナ戦争が重なり心を打つものがある。
- U25賞「夜のままで」
大人への憧れと成長する自分の感情の対比を詠んだ作品。
表現は未熟であるが、言葉が生き生きしていて好感が持てる。
将来が楽しみである。

【入賞者名・作品名】

- 文芸賞
該当なし
- 準文芸賞
おおはた こうへい
大畑 耕兵 （市貝町） 「妻の裁縫箱」
やしろ よしお
屋代 義夫 （宇都宮市） 「田川のほとりにて」
- 文芸奨励賞
くぼかわ けんいち（宇都宮市） 「きょうは^{かもく}寡黙なアマガエルへ」
なかむら みちよ
中村 実千代 （小山市） 「樹」
せきや
関谷 ひいず （佐野市） 「便り」
あたゆうすけ （宇都宮市） 「杉並木」
しのはら かけりを おおぬすつと こぬすつと
篠原 翔有士 （鹿沼市） 「大盗人 小盗人」
- U25賞
ゆき
由希 （宇都宮市） 「夜のままで」

第 77 回栃木県芸術祭文芸賞審査結果（短歌部門）

- 応募者数 34人（43人）
○ 入賞者数 6人（9人）（ ）内は昨年度実績

【審査寸評】

○作品総括

昨年より大幅に応募者が減少した。これが影響したのか文芸賞に該当する作品がなく、また、新鮮な驚きを与えてくれる作品もみあたらなかった。これからの取り組みに期待したい。

○文芸賞

該当なし

○準文芸賞「路地散策」

路地というひとつのテーマから広がる世界が丹念に詠われている。路地という見逃がしやすいテーマが良かった。そして、免許返納などが巧みに取り込まれていて時代性を感じた。なお、最後の一首の荒い言葉が準文芸賞にとどまった理由である。

○準文芸賞「湯西川—^{あこ}吾娘の赴任地」

娘さんの赴任地である湯西川の土地の雰囲気良く出ている。地名を上手に取り入れて感興をそそる作品である。分校に赴任する娘を想う心が漂っている。

○U25賞「夏」

きちっと定型を踏まえて整った作品。自分の気持ちを良く見つめて表現している。自然に対して豊かな感性、みずみずしい詩情が表現されており、今後に期待がもてる。

【入賞者名・作品名】

○文芸賞

該当なし

○準文芸賞

なかやま ゆきお

仲山 行郎（栃木市） 「路地散策」

こだま よしひさ

碓 佳久（足利市） 「湯西川 — 吾娘の赴任地」

○文芸奨励賞

あおき かずお

青木 一夫（さくら市） 「ジャパンカップ」

そうま よしこ

相馬 芳子（那須塩原市） 「肩書きは百姓です」

すずき まさあき

鈴木 政明（市貝町） 「退職の朝」

○U25賞

ももえ

百恵（那須塩原市） 「夏」

第 77 回栃木県芸術祭文芸賞審査結果（俳句部門）

○ 応募者数 38人（42人）

○ 入賞者数 8人（8人）（ ）内は昨年度実績

【審査寸評】

○作品総括

応募句は前年より4編少なかったが、全体としては質の高い句が多かった。ただし10句揃えることは難しく、細かく追及すると減点される句が目立つ。例年には多かった誤字・送り仮名の間違いも少なく、俳句文化がしっかりと栃木県に根付いてきた感じだ。

○文芸賞「しもつけの夜」

焦点を日常の諸相にあてて、軽快に仕上げている。
発想に独自性があり、詩的な表現も効果を発揮しており、全体に破綻のない一編である。

○準文芸賞「神輿庫」

写生も的確であり、季節を適切に詠まれている。
それぞれの句に作者の心情が伝わってくる。

○準文芸賞「赤べこ」

全体的に減点を付ける俳句が少なく、まとまった作品。
情を抑えた口語表現で、静かで豊かな生活を表現している。

【入賞者名・作品名】

○ 文 芸 賞

とだ とみこ
戸田富美子（壬生町） 「しもつけの夜」

○ 準文芸賞

まつもと みつこ みこしぐら
松本 光子（宇都宮市） 「神輿庫」

きしだ うどう
岸田 雨童（宇都宮市） 「赤べこ」

○ 文芸奨励賞

たかの しろう
高野 史郎（宇都宮市） 「震災」

おかべ かずこ
岡部 和子（真岡市） 「山笑ふ」

なかむら さなえ
中村 早苗（宇都宮市） 「餃子像」

しみず しょうはち
清水 昭八（佐野市） 「友と桜」

にしづか とみこ
西塚 とみ子（大田原市） 「マトリョーシカ」

○ U 2 5 賞

該 当 な し

第 77 回栃木県芸術祭文芸賞審査結果（川柳部門）

○ 応募者数 28人（34人）

○ 入賞者数 8人（8人）（ ）内は昨年度実績

【審査寸評】

○作品総括

日常の中にしっかりと自己を見つけ、各々の視点での作品がみられたのは好ましい。応募者の年齢から老いに関する作品に傾くとしても、愚痴ではなく、むしろタフさを感じるものがあった。
新人の応募があったことも嬉しかった。

○文芸賞「風」

風の百態を巧みに詠んでおり、どの句にもそつがない。
10句目のハシビロコウは動かない鳥の代名詞であり、比喻が秀逸であった。

○準文芸賞「いのちさく」

文芸賞との差は僅かなもの。題名の平仮名書きが選者に^{てら}銜いを感じさせたことが惜しまれる。

○準文芸賞「生きる」

百歳に迫る作者の「生」への固執が選者の共感を誘った。

【入賞者名・作品名】

○ 文 芸 賞

ふくだ えいこ
福田 英子（日光市） 「風」

○ 準文芸賞

やすい たかこ
安井 貴子（日光市） 「いのちさく」

おのぐち ひろし
小野口 博（鹿沼市） 「生きる」

○ 文芸奨励賞

こぼり すいせん
小堀 翠泉（那須烏山市） 「ローカル線」

よこやま なおし
横山 直史（真岡市） 「風とともに」

しのはら あきら
篠原 晟（佐野市） 「平和」

あおき てるお
青木 照雄（日光市） 「潤滑油」

ますこ じょうぶ
益子 丈夫（日光市） 「流れゆく日々」

○ U 2 5 賞

該 当 な し